

大映女優祭 *in* 新文芸坐

# 百花繚乱

1月					
28	日	青空娘 祇園囃子	11:45    15:15    18:45 10:05    13:35    17:05    20:35 (終映22:00)		
29	月	雪の渡り鳥 ◆ 婦系図 湯島の白梅	11:45    15:25    19:05 9:40    13:20    17:00    20:40 (終映22:35)		
30	火	春琴物語 女の一生	11:25    15:15    19:00 9:40    13:30    17:15    21:00 (終映22:35)		
31	水	氷点 さようなら、今日は	11:45    15:25    19:05 10:05    13:45    17:25    21:05 (終映22:30)		
2月					
1	木	夜はいじわる 氷壁	11:30    15:15    19:00 9:40    13:25    17:10    20:55 (終映22:30)		
2	金	穴 足にさわった女	11:30    15:15    19:00 9:50    13:35    17:20    21:05 (終映22:30)		
3	土	女経 女妖	11:20    14:55    18:25 9:40    13:15    16:50    20:15 (終映21:40)		
4	日	赤い天使 爛	11:40    15:20    19:00 10:00    13:40    17:20    21:00 (終映22:30)		
5	月	細雪 夜の蝶	11:30    15:15    19:00 9:45    13:30    17:15    21:00 (終映22:30)		
6	火	女の賭場 第二の性	9:40    12:55    16:10    19:25 11:15    14:30    17:45    21:00 (終映22:30)		
7	水	女の教室 貴族の階段	10:45    14:45    18:45 12:35    16:35    20:35 (終映22:30)		
8	木	怪談 雪女郎 大魔神	9:50    12:55    16:10    19:25 11:20    14:35    17:50    21:05 (終映22:30)		
9	金	高校生ブルース しびれくらげ	12:10    15:40    19:10 10:25    13:55    17:25    20:55 (終映22:30)		

◆『雪の渡り鳥』提供:国立近代美術館フィルムセンター ※こちらは近年作成されたプリントですが、初期のカラー作品で色のバランスが崩れた状態となっております。またそれ以外にも原版に相応の経年劣化がございます。ご了承ください。

# 大映女優祭 *in* 新文芸坐 百花繚乱



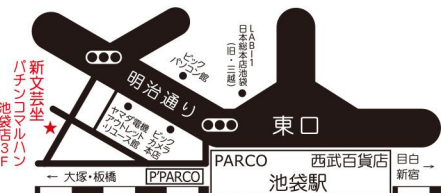
## 新文芸坐

豊高区東池袋1-43-5 マルハン池袋ビル3F  
池袋東口徒歩3分 TEL:03-3971-9422  
<http://www.shin-bungeiza.com>  
twitterアカウント: shin\_bungeiza

ご入場料金 [2本立て]

一般 1,350円 / 学生 1,250円  
友の会・シニア 1,100円  
ラスト1本 一般・学生 900円 友の会・シニア 850円

●プリントによっては映像や音声の状態が悪い場合があります  
●上映開始30分以降のご入場はご遠慮ください



2018.  
1/28[日] ▶ 2/9[金]

新文芸坐

[www.shin-bungeiza.com](http://www.shin-bungeiza.com)



# 大映女優祭 in 新文芸坐 百花繚乱



全作品配給：KADOKAWA 作品解説：若井信二

1月28日(日)  
深淵！若尾文子



### 青空娘

[1957/88分/35mm] カラー/スタンダード

【監】増村保造【原】源氏鶏太【脚】白坂依志雄【撮】高橋通夫【音】小杉太郎【美】柴田篤二【出】若尾文子、菅原謙二、川崎敬三、沢村貞子、三宅邦子、東山千栄子、信伏三、滝花久子、品川隆二、ミヤコ蝶々、南都雄二、八潮悠子

増村の監督2作目にして、以後20本もの作品で脚圧に屈せず勝利する女性を体現したミュージック、若尾との出逢いの1本。継子いじめという素材に、日本的情緒を排しスピーディに描ききった全く新しい日本映画。若尾も「演じていて、もう日が覚めたような感じだった」と語る。

1月29日(月)  
艶麗 山本富士子



### 雪の渡り鳥

[1957/85分/35mm] カラー/シネスコ

【監】加戸敏【原】長谷川伸【脚】犬塚稔【撮】竹村康和【音】鈴木静一【美】上里義三【出】長谷川一夫、山本富士子、黒川弥太郎、阿井美千子、志村喬、小堀明男、沢村宗之助、清水元、石黒達也、潮万太郎、香川良介

ヤクザから足を洗い堅気で暮らす銀平だが、たび重なる悪党・丑松の所業についに封印した刀を抜く。二役を演じた山本は大映入社デビュー作「花の講道館」で長谷川と共に演、ヒロインを最後までもたせるとは物凄い力があるんだよ」と役者の厳しさを教えてもらったという。

1月30日(火)  
豊麗 京マチ子



### 春琴物語

[1954/111分/16mm] 白黒/スタンダード

【監】伊藤大輔【原】谷崎潤一郎【脚】八尋不二【撮】山崎安一郎【音】伊福部昭【美】伊藤嘉彦【出】京マチ子、花柳喜章、船越英二、青山杉作、進藤英太郎、千秋美、河野秋武、杉村春子、滝花久子、浦辺条子、桜緑紗子

「春琴抄」2度目の映画化。大阪の薬種問屋の娘・お琴と、盲目のお琴にただ献身的に尽くす奉公人の佐助。ふたりの異様な関係は、お琴が顔に大火傷を負ったとき、至上の愛の高みまで達する。「谷崎先生に褒められていたのだ」と京は回想する。東南アジア映画祭最優秀作品賞。

1月31日(水)  
豪華！京若尾 安田野添



### 氷点

[1966/97分/35mm] 白黒/シネスコ

【監】山本薩夫【原】三浦綾子【脚】水木洋子【撮】中川芳久【音】池野成【美】間野重雄【出】若尾文子、安田野添、山本圭、津川雅彦、船越英二、森光子、成田三樹夫、鈴木瑞穂、明星雅子、仲村隆

原作はTVドラマにもなった当時のベストセラー。幼い娘を殺害された病院長が、犯人の娘を引き取り育てること。異形の復讐劇の中で、複雑な境遇の娘に扮した安田、娘に対して溺愛から憎悪、嫉妬へと感情を横断する妻を演じる若尾の演技のやり取りが見どころ。

2月1日(木)  
洗練 山本富士子



### 夜はいじわる

[1961/99分/35mm] カラー/シネスコ

【監】田中重雄【脚】笠原良三【撮】高橋通夫【音】北村和夫【美】後藤信二【出】山本富士子、船越英二、川崎敬三、水谷良重、中村陽治郎、北林谷栄、東野英治郎、見明凡太郎、高橋とよ、多々良純、角梨枝子、左ト全

老舗の製菓問屋「土佐久」の長女は雄つぶの会社のたて直しに奔走する。気が強く、しつかり者のヒロインに山本は適役。融資した会社から派遣された船越とのツンデレ展開のラブコメの好篇！山本が披露する着物姿の美しさは特筆もの。山本唄主題歌も！

2月2日(金)  
奔放！京マチ子



### 穴

[1957/102分/35mm] 白黒/スタンダード

【監】市川崑【脚】久里子亭【撮】小林節雄【音】芥川也寸志【美】下河原友雄【出】京マチ子、船越英二、山村聡、菅原謙二、浜村雄、北林谷栄、川上康子、見明凡太郎、日高澄子、潮万太郎、岡村文子、目黒幸子

市川が京と初タッグ、新たな魅力を引き出した1本。女性記者が「失脚した自分を見つけた者に賞金」という企画を仕掛けるが、事態は思わぬ方向に……。驚くべきスピーディな展開の中、様々なコスチュームをまとう京のコミディエンスぶりが見どころ。石原慎太郎の唄もレア！



### 祇園囃子

[1953/85分/35mm] 白黒/スタンダード

【監】溝口健二【脚】依田義賢【撮】宮川一夫【音】斎藤一郎【美】小池一美【出】若尾文子、木暮実千代、進藤英太郎、河津清三郎、浪花千栄子、菅井一郎、田中春男、志賀道家弁慶、毛利菊枝、小瀬裕也、伊達三郎

若尾がデビュー1年ほどで清口作品に大抜擢。戦後派の舞妓に扮するにあたり、撮影前に芸者置屋に住みこみ、役に備えた。厳しい演出で知られる溝口だが、若尾は「自由にやらせてもらい、私がその時に持っていたものをフルに引き出していただいた」と述懐する。キネ旬9位。



### 婦系図 湯島の白梅

[1955/116分/35mm] 白黒/スタンダード

【監】脚】衣笠貞之助【原】泉鏡花【脚】相良淳【撮】渡辺公夫【音】斎藤一郎【美】柴田篤二【出】山本富士子、鶴田浩二、森雅之、藤田佳子、高松英郎、杉村春子、加東大介、沢村貞子、小沢栄太郎、見明凡太郎、中村伸郎

「お島」という役には女優として必要な要素が全部入っているから」と自身かつて女形だった衣笠が動きを全部やって見せるなど、丁寧な演技指導を受け演技開眼。山本は「女優としてお島役に廻り合えたことに運命を感ずます」と語り、その後、舞台でも長く上演、当たり役とした。



### 女の一生

[1962/94分/35mm] 白黒/シネスコ

【監】増村保造【原】森本薫【脚】八住利雄【撮】中川芳久【音】池野成【美】間野重雄【出】京マチ子、田宮二郎、叶順子、東山千栄子、小沢栄太郎、高橋昌也、清水将夫、浦路洋子、浜村雄、杉田康、小山内淳、橋本力

原作は杉村春子の文学座における当たり役で有名。京も原から老け役まで演じ切り、明治から大正、そして戦後まで時代に翻弄される一人の女の生き様を見事に表現。増村は京の「ひたすら、役にこけこみ、なりきろうとする癖に見る誠実さ、素直さ」を最大の特徴にあげる。



### あなたと私の合言葉 さようなら、今日は

[1959/87分/35mm] カラー/シネスコ

【監】市川崑【原】久里子亭【脚】舟橋和郎【撮】小林節雄【音】塚原哲夫【美】下河原友雄【出】佐分利信、若尾文子、京マチ子、野添ひとみ、川口浩、船越英二、菅原謙二、浦辺条子、三好栄子、見明凡太郎、倉田マユミ

適齢期の娘の結婚に対する遠慮、父親との関係など物語だけでなく、シヨツや構図も徹底的に小津映画を模した（権謀も台詞までも）ホームドラマ。若尾、京（甘味屋で見せる掛け合いが絶品!）と野添は、この10か月後、小津作品「浮草」に出演することになる。



### 氷壁

[1958/96分/35mm] カラー/ヒスタ

【監】増村保造【原】井上靖【脚】新藤兼人【撮】村井博【音】伊福部昭【美】下河原友雄【出】山本富士子、菅原謙二、川崎敬三、野添ひとみ、上原謙、山茶花究、浦辺条子、金田一敦子、杉田康、目黒幸子、夏木章

井上が朝日新聞に連載したベストセラーを当時新進の増村が映画化。登山中にザイルが切れて親友・小坂を失った魚津は自殺か他殺かの渦中。かつて小坂が愛した美那子に会うう魚津も魅かれていく。山本の切い立つような成熟した魅力。小坂の妹を演じた野添の好演も光る。



### 足にさわった女

[1960/85分/35mm] カラー/シネスコ

【監】増村保造【原】沢村撫松【脚】和田夏十、市川崑【撮】村井博【音】塚原哲夫【美】間野重雄【出】京マチ子、八木隆、船越英二、大辻同郎、杉村春子、田宮二郎、見明凡太郎、多々良純、ジェリー・藤尾、植木幸、谷啓

列車に乗り合わせた美貌の女と、彼女を見張るうちに愛情を感じる刑事。さらにカモと狙った作家。名前は五無康祐)まで刑事で大混戦。増村には珍しい喜劇だが、京の持ち味を活かしてスマートなラブコメになった。大阪松竹歌劇団出身の京の脚線美に目を奪われる！

2月3日(土)  
絢爛 オールスター



### 女経 (じよきょう)

[1960/100分/BD] カラー/シネスコ

【監】増村保造、市川崑、吉村公三郎【原】村松梢風【脚】八住利雄【撮】村井博、小林節雄、宮川一夫【音】芥川也寸志【出】若尾文子、川口浩、田宮二郎、山本富士子、船越英二、野添ひとみ、京マチ子、叶順子、川崎敬三、村松の短編集を原作に三人の監督が織りなすオムニバス。それぞれの作風が楽しめるが、特に、「山本富士子のイメージをぶっ壊したい」と語った市川による「物を高く売りつける女」で謎めいた女の二面性を体現した山本はキネ旬女優賞を獲得。入浴シーンの色香にノックアウト！

2月4日(日)  
激情！若尾文子



### 赤い天使

[1966/95分/35mm] 白黒/シネスコ

【監】増村保造【原】有馬義典【脚】笠原良三【撮】小林節雄【音】池野成【美】下河原友雄【出】若尾文子、芦田伸介、川津祐介、赤木蘭子、千波丈太郎、池上綾子、小山内淳、喜多夫八、谷謙一、仲村隆、飛田喜佐夫

中国大陸の激戦地を舞台に、兵士たちのため挺身する従軍看護婦・西くら。極限状況をスロウ・スタイルで描いた（腕や脚を切り落とす音!）本作において若尾が体現した女性像は増村作品の集大成といえる。軍医に愛を告白するシーンの意志に満ちた表情を見よ！

2月5日(月)  
競艶 京マチ子 & 山本富士子



### 細雪 (さめゆき)

[1959/105分/35mm] カラー/シネスコ

【監】島耕二【原】谷崎潤一郎【脚】八住利雄【撮】小原謙治【音】大森盛太郎【美】柴田篤二【出】京マチ子、山本富士子、轟夕起子、叶順子、三宅邦子、根上洋、船越英二、川崎敬三、信伏三、菅原謙二、山茶花究、藤田佳子

豪華女優陣の顔合わせによる谷崎の名作、2度目の映画化。船場の旧家の四姉妹がそれぞれの幸せを求め姿を通し、控えめながら芯の強い日本女性が持つ美しさを描く。京、山本とも大阪生まれで作品世界にひたってはまっている。四女役の叶も清新な魅力で画面を彩る。

2月6日(火)  
情炎 江波杏子、安田野添



### 女の賭場

[1966/84分/35mm] カラー/シネスコ

【監】田中重雄【原案】青山光二【脚】直居欽哉、服部佳【撮】小林節雄【音】池野成【美】井上章【出】江波杏子、川津祐介、渡辺文雄、酒井修、角梨枝子、見明凡太郎、南原、水原浩一、北原義郎、夏木章、藤山浩二

父の仇を討つため、調師となって勝負に挑む娘。初の単独主演作となった江波は、着付けや所作を基本から仕込まれ好演。江波のクールな美貌が賭場のシーンの緊張感と相まってヒット（東映「美神」シリーズよりも早い）以後17作に及ぶ人気シリーズとなった。

2月7日(水)  
可憐 野添ひとみ、叶順子



### 女の教室

[1959/88分/35mm] 白黒/シネスコ

【監】脚】渡辺邦男【原】吉屋信子【脚】長谷川公之【撮】渡辺孝【音】山田栄一【美】高橋康一【出】野添ひとみ、叶順子、川崎敬三、市川和子、浜田ゆう子、三宅和子、岸正子、田中三津子、浦辺条子、花野富夫、平井岐代子

恋愛、進路に悩むがら学業に励む7人の女子医大生の青春群像篇。貧しい家庭に育った操と恵美のような女の子、対照的な二人を野添と叶が強く演じる。学長賞を争うライバルでもある二人は共に研究室の吉岡を愛するようになる……。ラストは女の友情に感涙。

2月8日(木)  
優美 藤村志保、高田美和



### 怪談 雪女郎

[1968/79分/35mm] カラー/シネスコ

【監】田中重雄【脚】八尋不二【撮】牧浦地志【音】伊福部昭【美】内藤昭【脚】藤村志保、石浜朗、村瀬幸子、内藤武、長谷川待子、鈴木瑞穂、須賀二男、清水将夫、北原義郎、原泉、北城寿太郎、堀北幸夫、藤川津、花布辰男

「雪女」伝説を大映京都の技術の粋を集めて仕上げた文芸怪談映画の最高峰。見事な雪景、耽美的な映像の中で藤村の美しさが際立つ。透き通るような白い肌、黒髪、金色のコンタクト・レンズを入れた眼が深い情念と慈悲を湛える。この映像美は大きなスクリーンで観るべき！必見！

2月9日(金)  
鮮烈！関根恵子、渥美マリ

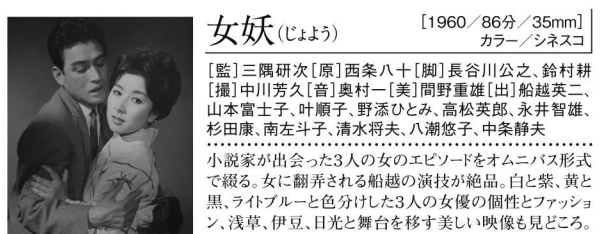


### 高校生ブルース

[1970/83分/35mm] カラー/シネスコ

【監】帯盛彦彦【原】柴田成人【脚】伊藤昌洋【撮】喜多崎寛【音】伊部晴美【美】山口照【出】関根恵子、内田嘉郎、伊藤幸子、堀尾三郎、小野川公三郎、八木章、浅見ちづ子、成瀬亜紀子、北城寿太郎、夏木章

関根のデビュー作は高校生の妊娠という衝撃的な内容だが、その痛みと動揺、相手の少年の自分本位な態度への絶望など心理表現で丁寧に重ねた青春映画となった。当時15歳でヌードシーンにも挑んだ関根に宿る女優魂は、後年の演技派としての活躍を予感させる。



### 女妖 (じよあ)

[1960/86分/35mm] カラー/シネスコ

【監】三隅研次【原】西条八十【脚】長谷川公之、鈴木耕【撮】中川芳久【音】奥村一【美】間野重雄【出】船越英二、山本富士子、叶順子、野添ひとみ、高松英郎、永井智雄、杉田康、南左斗子、清水将夫、八潮悠子、中条静夫

小説家が出会った3人の女のエピソードをオムニバス形式で綴る。女に翻弄される船越の演技が絶品。白と紫、黄と黒、ライトブルーと色分けした3人の女優の個性とファッション、浅草、伊豆、日光と舞台を移す美しい映像も見どころ。「女経」と合わせ2本で6本分案しめる！



### 夜の蝶

[1957/90分/35mm] カラー/スタンダード

【監】吉村公三郎【原】川口松太郎【脚】田中澄江【撮】宮川一夫【音】池野成【美】間野重雄【出】京マチ子、山本富士子、船越英二、川崎敬三、山村聡、小沢栄太郎、芥川比呂志、近藤美恵子、見明凡太郎、穂高のり子、川上康子

大映のトップ、京と山本が研をきそう傑作。京都のバーのやり手のママが東京に進出、迎えるつ銀座のNo.1クラブのママ（この二人には実在のモデルがいた）との女意地とプライドをかけたガチンコ勝負！エゴと欲望蠢く川上禁止の駆け引きが滅法面白い！客を演じる俳優陣も豪華！



### セックスチェック 第二の性

[1968/89分/35mm] カラー/シネスコ

【監】増村保造【原】寺内大吉【脚】池田一朗【撮】喜多崎寛【音】山内正【美】下河原友雄【出】安田野添、緒形拳、小川真由美、滝田裕介、内田朝雄、早川雄三、仁木多鶴子、笠原玲子、八代順子、目黒幸子、村田扶実子

一匹狼の陸上ロードが素質を見出したひろ子。プリンターに鍛え上げるが、半陰陽と診断され……。『走る』シーンのため、撮影に入る1ヶ月前から猛特訓をした安田は、最後は「オリンピック出ないか!」と言われるほどのタイムを出せるようになったという。この女優魂！



### 貴族の階段

[1959/116分/35mm] カラー/シネスコ

【監】吉村公三郎【原】武田泰淳【脚】新藤兼人【撮】中川芳久【音】京敏【美】間野重雄【出】森雅之、叶順子、金田一敦子、本郷功次郎、滝沢修、志村喬、細川ちか子、菅原謙二、仁木多鶴子、佐々木幸丸、村瀬幸子

軍部が顔としてきた昭和初期、貴族院議長の娘・水見子を目を惹きつけた26事件へと突き進む激動の時代を恋愛模様を絡めて描く。叶は水見子の兄に慕われながら、その父親と関係してしまう節子という難役を見事に演じた代表作とした。三島由紀夫も激賞したといわれた名作。



### 大魔神

[1966/84分/35mm] カラー/シネスコ

【監】安田公義【脚】吉田哲郎【撮】森田富士郎【特撮監督】黒田義之【音】伊部晴美【美】内藤昭【出】高田美和、青山良彦、藤巻潤、五味龍太郎、島田竜三、遠藤辰雄、伊達三郎、出口静宏、二宮秀樹、木村玄、橋本力

悪辣な領主の巨匠の村の守り神の像が動き出す。大魔神が破壊する城門の瓦も一枚ずつ貼りこんでいったという精緻なセットなど、大映京都の職人魂が生み出した特撮時代劇の大傑作！ その祈りで大魔神を動かす娘を演じた高田の清純無垢な魅力は忘れ難い。ラストの涙！



### しびれくらげ

[1970/93分/35mm] カラー/シネスコ

【監】脚】増村保造【脚】石松愛弘【撮】小林節雄【音】山内正【美】後藤信二【出】渥美マリ、田村亮、川津祐介、玉川良一、内田朝雄、根岸明美、笠原玲子、草野大悟、平泉征、近江輝子、中田勉、甲斐弘子

大映末期のエロチック路線で人気を集めた渥美の「軟体動物」シリーズの1本。モデルのみどりには自分を利用しての恋人を酒浸りの父に翻弄される。道境をはじき返すようなグラマラスな肢体を持つ渥美もまた、増村の一連の「女のルネッサンス」映画に連なるヒロインである。